

## 学校改革プロジェクト委員会（研究推進委員）通信

平成 29 年 5 月 29 日

5月25日（木曜日）7限に連携型中高一貫教育のパートナー校である郡上市立白鳥中学校の市原教頭先生を招いて、授業研究会の手法についての事前研修を行いました。研究授業は13名の先生、授業研究会には10名（部活動のために2名は遅刻で参加）されました。

あらかじめ授業参観では「授業に取り入れたい手法」という観点でキーワードを付箋に書きました。その後の授業研究会では、その付箋を貼りながらグループのメンバーにと交流を深めました。

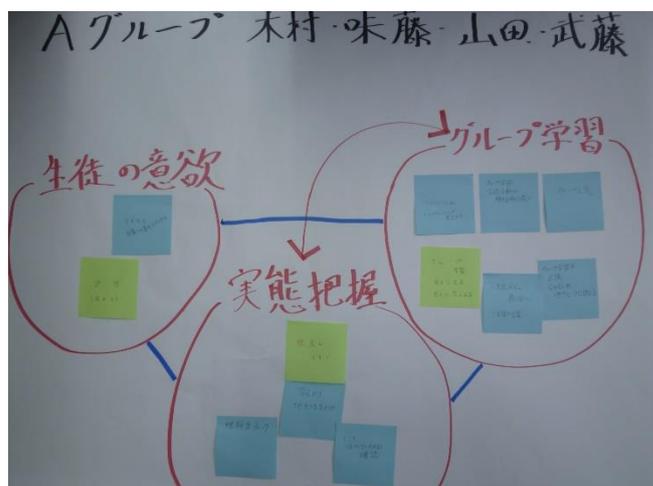
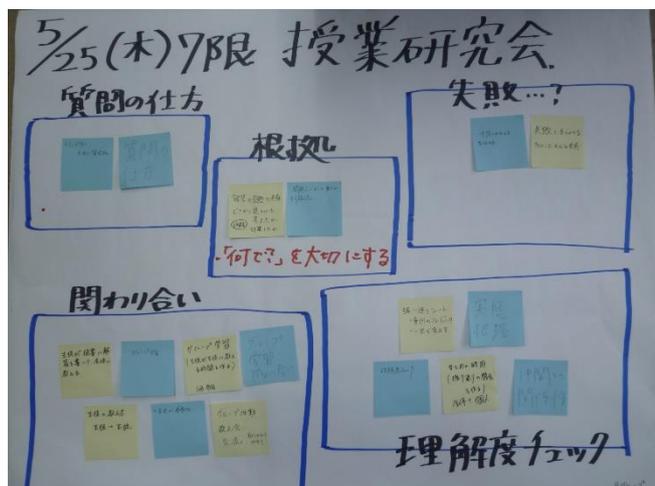
授業者は今回の授業のテーマとして「実社会と関連付けながら指導をする」ことを念頭に授業を行っていましたが、授業研究会では「評価」のことや「生徒の意欲」などについても意見が出されました。30分という短い授業研究会でしたが、教科の壁を越えて活発に交流がされました。



（研究授業の様子）



（授業研究会の様子）



（授業研究会で交流しながら作成したまとめ）

<授業研究会に参加された先生方の感想>

- ・他教科の知らない分野をそれぞれの先生が見ることがで、専門性以外の部分が客観的に見れて良いと思います。また、自分では気づかない視点が他教科間であきらかになって良かったと思います。指導方法を学べるので、指導力向上という目標にあっていると思います。
- ・切り口は指定しない方が（予めテーマをしぼっておく方が）意見は出る。
- ・グループの意見のまとめだけではなく、個人のまとめの時間もあると記憶に残る。
- ・他教科の授業の方が「指導方法」を学べるので、指導力向上という目標に合っていると思う。
- ・フットワーク軽くできる研究会を行いやすかった。
- ・良い刺激になった。
- ・自分の授業にも役立てられる技法を多く学べて楽しかった。
- ・負担になるかもしれませんが、簡単なクラスの雰囲気、教科の特性を示していただけると嬉しい。
- ・評価をフィードバックしていくことで、自信の無い生徒が自信を持つきっかけになるのではないか。
- ・人数は5人までが良い。
- ・話し合いのテーマが決まっていると話しやすい。
- ・教科の専門性が高いので、教科の内容が分からない。先に一言話をしてもらってから行った方が良い
- ・内容が分からないと、手法にしか目がいかない。
- ・授業の内容、授業者のポイント、クラスの雰囲気は予め知りたい。
- ・方法は今回のもので良いと思う、交流しやすかった。
- ・授業者の意図やねらいも後出しの方が良いと思います。

<白鳥中学校市原教頭先生からのご講評>

- ・中学校でも高校でも本質は変わらない。1時間かけてじっくり授業を見ると良い。  
（白鳥中学校の授業を参観するとき、ぜひ1つの授業をじっくり参観してみてください）
- ・生徒が分からないことを分からないといえることや、納得するまで聞くことができていた。
- ・授業を実践するには日ごろの積み重ねが重要。日ごろからこだわりを持つ。中学校でも同じ。

6月5日（月曜日）7限には学校全体で授業改善を目指した研修が行われます。今回の事前研修の感想をもとに、より効果的な校内研修を行います。